



空海の見た景色  
VIEWS OF KOBODAI SHIKUKA

御影堂【mie-do Hall】

高野山の壇上伽藍に建つ塔堂のひとつで、空海の在世中に持仏堂として建立された。空海入定後に、真如親王直筆の「弘法大師御影像」を安置したため、御影堂と呼ばれるようになった。現在の建物は弘化4年(1847)に、紀州藩徳川家を壇主として再建されたもので、5間4面の檜皮葺の宝形造り、屋根の勾配曲線が美しい。空海御誕生1250年の法会が行われる2023年には屋根の葺き替え工事も終了し、その美しい姿を再び見ることができる。生命の力強さを感じられる春夏もいいが、真っ白に雪化粧した御影堂の姿も、凛として美しい。